

# 石垣ロータリークラブ週報 No. 2639

会長: 大浜 一郎 副会長: 遠藤 正夫 幹事: 宮城 早人 副幹事: 池城 貞光



RI 会長:  
イアン H. S. ライズリー

ロータリー:  
変化をもたらす

地区ガバナー: 吉田 雅俊氏「感動と調和」

## ●クラブテーマ「絆とおもいやり」

例会日 水曜日 12:30~13:30  
 例会場 アートホテル石垣島(0980)83-3311  
 事務局 〒907-0013 石垣市浜崎町 1-1-4  
 TEL/FAX(0980)83-2917  
<http://ishigaki-rotary.jimdo.com>  
 E-mail ishirotary@ninus.ocn.ne.jp



◎ほうおう座  
 秋の南天の低い位置に見える星座で、日本では鹿児島県より南でないと全体像が観測できません。日本名は「鳳凰」から取られています。本来はフェニックス(不死鳥)をモチーフにした星座で、英語名も Phoenix です。

## 11月1日(水)第15回(通算2767回)例会報告

<司会進行> 大田 次男

ロータリーソング・「君が代」「四つのテスト」

ソングリーダー・・・遠藤 正夫

ゲスト・・・・・・浦内 由美子氏(石垣市商工会女性部長)

メイクアップ・・・・小林 昌道・仁開 一夫

出席報告

会 員 総 数	41名
出席義務会員	40名
出 席 数	26名
欠 席 数	14名
出 席 率	65.00%
通算出席率(11月)	65.00%

- ・佐藤会員お手をかけました。ありがとうございます。(今西 敦之)
- ・卓話ありがとうございました。(大浜 一郎)
- ・浦内由美子さん日本一おめでとう。今日の卓話に感謝!(宮良 榮子)
- ・浦内由美子さんおめでとうございます。(宮城 早人)
- ・浦内由美子さんおめでとう御座います。更なるご活躍をお祈り申し上げます。(大濱 達也)
- ・浦内様、全国大会優勝おめでとうございます。本日の卓話ありがとうございました。(前木 繁孝)
- ・浦内由美子さま受賞おめでとうございます。本日はありがとうございます。(小底 厚子)
- ・由美ちゃんおめでとうございます。増々のご活躍お祈りいたします。(上原 晃子)
- ・全国大会最優秀賞おめでとうございます。(佐久本 達)



## 本日のこころ

・由美子さん、オメデトウ!

(大田 次男)

BOX	¥ 2,000	(累計¥73,000)
コイン	¥ 2,727	(累計¥41,323)
合 計		¥114,596

## 会長挨拶：大浜 一郎

昨日は祝賀会も開催して頂いて、多くの方に来て頂いて、有難いなと思っております。全国で最優秀賞を取ったという事ではありますが、あくまでも商工会の皆さんの努力の結晶で、皆に与えられた賞だと思っております。というのもコンセプトを作ったり、作業をしている過程を、客観的に眺めていた中で、1つのモチーフを出して、それにストーリーを付けて、実際に取り組んで商品化までもっていこうと。それから発展して「バス・ザ・バカンス」という商品にまで展開していつているという事を考えると、田舎の商工会ではありますが、田舎は田舎なりに知恵とか思いが非常に強いんだろうなと思います。特に青年部とか女性部は本当に接していると分かりますが、活発で、まじめで、皆元気です。しかもまとまりもあって、非常に商工会としては良いメンバーが揃っているなと思っています。

たぶん全国大会の時が一番ピークだったと思います。発表も劣化していくので、今日はビデオになるかもしれませんが、そういった意味で、商工会の皆さんが地域を好きになって、皆で取り組んで、全国の中で極めて良い取り組みだと表彰されたことは、率直に嬉しいなと思います。とはいえ、それを伝える力というものも必要だったと思います。しゃべる前にラインをしたんですが、とにかく上手くしゃべろうとしないで、心を込めてしゃべったらいいよと、そしたら必ず伝わるとラインで送りました。良く少しは勉強したらしくて、良い発表になったんじゃないかなと、兄ながらっております。

## 幹事報告：宮城 早人

<理事会の報告>

- ・新入会員の承認、新城永一郎氏((株)紫電舎 代表者)が承認されました。
- ・ガバナー公式訪問について、12/6、10:30 会長幹事打合せ 11:15 クラブ協議会 12:30 例会。クラブ協議会では五大奉仕委員会、ロータリー財団、米山奨学会、会員増強の8部門の範囲で発表という事がございますので、担当の方は準備をよろしくお願いします。
- ・トロント国際大会、日台親善会議の参加予定人数をその時までにお聞かせくださいという事で

すので、参加確認の名簿が回っていますのでご確認下さい。

- ・宮古島 RC 合同例会開催について、同じ先島という事で、大浜会長と宮古島 RC の会長と協議して、1 月中に開催したいという事で、当クラブで宮古島訪問し例会に参加するという事になると思います。決定次第皆様にお知らせしたいと思います。
- ・日台会議の旅程ですが、当クラブ独自で旅程を作成したいと思いますので、決まり次第ご案内致します。

## ゲスト卓話：浦内 由美子氏

石垣市商工会女性部 部長



テーマ「心で香る、贈り物」



今日は心で香る贈り物、島んちゅの心をテーマに私たちの活動内容についてお話いたします。皆さんの地域、町、ふるさとの香りってどんな香りですか。私の住む石垣島は4年前に新石垣空港が開港し、島を訪れる観光客も年間70万人から今や124万人へと急激に増加しました。観光客の増加に伴って、島の経済は観光産業を中心に活気に満ち溢れています。かつてないほど石垣島が注目され、島が元気な今、私たち石垣市商工会女性部が、何か出来る事はないだろうかと考えを巡らせていました。そんな矢先、商工会の事務局長から商品作りの企画がある、女性部で取り組んでみたらどうかという打診がありました。話の内容は資生堂の事業の一環に、ご当地フレグランスという企画があり、地域のシンボルとなる香りをフレグランスにして、地元をPRしていこうという事業でした。ご当地を表す香りを作るなんて、女性らしくていいと思いませんか、という事務局長の問いかけに、私は「え〜、あの資生堂さんと？やってみたい。島の香りを作りたい」と何かしら体の

底からこみあげてくる衝動に駆られました。会議の場で石垣島の香りを作る事業について、早速提案してみました。すると「年間行事をこなすだけで、精一杯ですよ」と初めの頃は部員から反対の意見が大多数でした。しかし私は「これまで取り組んだことがない事業だからこそ、やりがいがあるし、私たち島の香りを考えて、それが商品化できるなんて、すごいと思わない？」と再度訴えてみると、「石垣島に住む私たちにしか出来ない事だから、挑戦してみようか」という嬉しい反応に変わっていったのです。

部長の私を中心に女性部の中から数名を選抜し、この事業を受託する専門の委員会、フレグランス委員会を立ち上げました。しかし、正直言って、ここからが大変でした。メーカーの担当者からは「この事業の中心となるのは、この地域に住む皆さんですよ。私たちはあくまでも皆さんのサポート役です」と私たちが自らの力で取り組まなければならない、多くの課題を与えられました。商品の発売日を新石垣空港開港1周年にあたる、2014年3月7日に設定し、それに向けて事業をスタートしました。商品のコンセプト？商品を通して何を伝えたいのか。ターゲット層はどこに置くのか。香りは何をモチーフにするのか。パッケージデザインはどうするのか。商品の核となる部分を私たち女性部で全て考えなければならなかったのです。それからは毎日が香り捜し。商品構想作りの日が続きました。石垣島を訪れる人々は、島に何を求めてくるんだろう。青い空、青い海、ゆったりとした時間の流れ、満点の星空、そして豊かな自然と癒し等々、島の持つ印象を香りとして、どう表現すればいいのか、島の恵みや風景を五感を通して伝えられる香りが、絶対にあるに違いないと私たちの納得のいく香り捜しに奮闘する日々が続きました。また、メーカーからの回答期限も迫る一方で、コンセプトやストーリーなど方向性が一向に進まない私たち委員会に対して、課題の提出の催促も含め、真剣みが足りなんだと叱咤激励の厳しい言葉が幾度となく返って来ました。その状況をどうにか打開しなくてはと、私の気持ちは焦るばかりでした。しかし、そんな状況で助けてくれたのは、やっぱり女性部の仲間たちでした。それぞれに仕事を持ち、家事をこなし、時間を作り、昼休みに集まったり、夕食後に集まったりと何度も話し合う時間を作ってくれました。そんな仲間

に支えられて私は、頑張りぬくことができたのです。

そんなある日、ある一人のメンバーが「なんか、昔夜になると、ほんのりと香って来た香りがあったよね。あれって何の香りだったか」私の脳裏に浮かんできたのが、両親と川の字で寝ていた幼かったあの頃、開け放った窓からほんのりと香って来た、あの香り。調べてみるとその香りは夜香木という花の香りでした。夏の夜、特に満月の日には小さな白い花が咲き、甘い香りを放ち、明け方には閉じてしまうという、そんな幻想的な瞬間を見せてくれる夜香木は、石垣島では古くから民家の庭先に植えられていて、島の人々を見守ってくれているかのような存在になっています。忘れかけていた、身近にあった大切な香り、夜香木、これいいかも。直感的に感じた私たちは、夜香木についてのコンセプトやストーリーをレポートにまとめて、メーカーの担当者に提案してみました。担当者は驚いたように、あの夜香木はこれまでほとんど商品化されていない、未開発の資源じゃないですか。今までにない島のイメージが出来そうですね。という嬉しい言葉も頂きました。ついに自分達で地域、島をアピールする香りを見つけることができたのです。

私たちの想いの詰まった島の香りの商品は、石垣島の豊かな自然とゆったりとした時間の中で、心が解き放たれて幸せな気持ちに満たされてほしいという願いを込めて「命の幸せ」という意味を持つ「ぬちがふう」と名付けられ、商品の発売日を迎える事ができました。一人でも多くの人に、この商品を知ってもらいたい、使ってもらいたい、私たちの想いを届けたい一心で、女性部一丸となって各種イベントに積極的に参加をしてきました。その結果、地元の産業まつりでは最優秀賞、沖縄県産業まつりでは県連会長賞、そして全国香り1グランプリではなんと栄えある優秀賞を受賞することができ、私たちの活動を大きくマスコミに取り上げて頂きました。

また、暖かい活動もありましたので、ここでご紹介いたします。石垣島には大学や専門学校がなく、高校を卒業するとほとんどの子供達が進学や就職のために親元を離れ、島を旅立って行きます。島を旅立つ子供たちへ、元気でいてほしい、いつまでも島の事を忘れないでいて欲しいと願う、親の想いがあります。そんな気持ちを託し、その年



高校を卒業する 900 名の子供達に、母親たちと女性部が共同で夜香木の香りのお守り袋を作り、卒業式の日に手渡すことができました。そして、昨年は島の関連の商品をもっと広めて行きたいという思いから、フレグランス事業第 2 弾となった炭酸入り入浴剤を共同開発し、新しい商品が誕生しました。この商品も島の素材にこだわりぬいた商品で、フレグランス同様、全国に広げて行きたいと PR 活動にも力を注いでいます。

これらの活動を続ける中で、フレグランス事業から 3 年目を迎えた昨年末、念願だった香りの商品を管理販売する会社を立ち上げるまでになりました。活動の場である商工会という組織に出会い、仲間と共に島の香りの特産品を作る活動で、地域の活性化を図るその夢は、今もますます広がっています。今後の私たちの目標は、東京オリンピックの年、2020 年に石垣島に香りの専門店を完成させることです。夢は絶対に叶う。実現可能を信じて取組んで参ります。明るく、楽しく、元気よくをモットーに心で香る贈り物、石垣島の香りを世界で届けられるように。

### 会員より：宮良 榮子

由美子さん、本日は全国大会最優秀賞のロータリーでの卓話、ありがとう御座いました。本当に感動致しました。10月31日ホテルミヤヒラにて、最優秀賞の祝賀会が行われ、中山市長を初め、商工会会員の皆さんはもとより、友人知人宮良村から大勢の方々が参加されていて、会場いっぱいの祝賀会で、こんなにも大勢の人々が集うのは、初めてのような気が致しました。本当に現在の助成の素晴らしさを表現実現できたと思いました。母親の大浜立さんは各テーブルを回り、娘の為にありがとうございますと言って、お礼をしている姿が印象的で、由美子さん、本当に親孝行したね。それにお陰様で女性部の歴代部長の皆さんが全員集う事が出来て、本当に感無量でした。ありがとうございます御座いました。今後の益々のご発展を祈っています。感謝！

今週の

Happy Birthday

- ★ 宮良 榮子氏(1941年11月5日)
- ★ 佐藤 智博氏(1971年11月6日)

## ～例会風景～



## 地区大会ご案内

於 京王プラザホテル

《本会議》コンコードボールルーム

◎日 時:2月21日(水)

12:00登録開始 13:00点鐘

16:30記念講演 佐藤 優氏

◎登録料:¥10,000

◎登録締め切り:12月25日